



その他、パーミエイトが他のコンクリート保護材より優れている点は？



「含浸／被覆」と「含浸のみ」の2工法が可能！

しかも、両工法ともに施工方法が簡単で、保護効果がほぼ永久的。

また、塗膜は無機系ポリマーだから、チョーキングもおこさず、

熱にも強く、剥がれません。

●「含浸／被覆」工法と「含浸のみ」の工法

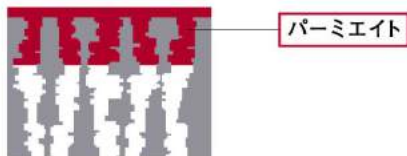
パーミエイトはコンクリートの細孔へ浸透・硬化して細孔を塞ぎ、さらに表面を塗膜で覆う「含浸／被覆」工法と、コンクリートの細孔を塞ぐだけで打ち放し景観・質感を残す「含浸のみ」工法の2タイプを工事目的に応じて選べます。

①「含浸／被覆」工法

(パーミエイト使用グレード:HS-300、330)

微細孔に浸透・硬化し、さらに表面を覆って内部にしっかり根を張ったような「根付き塗膜」となります。塗膜の付着力は強く、基材を破壊しない限り剥離しません。着色も自在です。

「含浸／被覆」工法



※HS-300：一般コンクリート構造物用
HS-330：下水道コンクリート用(超耐硫酸性)



②「含浸のみ」工法

(パーミエイト使用グレード:HS-350、360)

コンクリート表層2mm程度の深さの細孔をポリマーで塞ぐだけで表面に塗膜は作りません。塗膜を作らないので、コンクリートの打ち放し景観・質感を残せます。

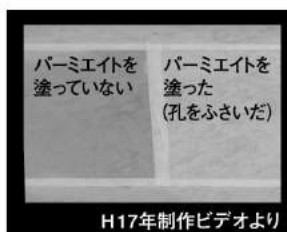
「含浸のみ」工法



※HS-350：コンクリート表面に多少の濡色が出てよい場合にご選定ください(材料コスト低減)
HS-360：コンクリート表面の濡色なしをご希望される場合にご選定ください

●耐用年数はほぼ永久！

ガラス、石に代表される無機系物質は、紫外線による劣化がないことにより、粉碎など形は変わるものの、物質そのものは永久に維持されます。無機系ポリマーであるパーミエイトも同様です。だからほぼ永久に保護性能を維持します。



◆H17.3施工の含浸材HS-350は、H21.5時点においても、その遮水性は変化無く、散水してもコンクリート表面は濡れた色になりません。



◆H17.3施工のコンクリート橋脚保護塗装HS-300は、H21.5時点においても、外観上での変化はありません。

